

2024年 6月1日(土)・2日(日)

ジョゼフ・エーレンプレイス(ギタリスト)

藤家溪子(作曲家)

両日とも 15:00~18:00

●京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA(プレイベント)

●Taro-house(メインイベント)

manger un chien ?

Concert de Brahms-guitar et déclamation avec discussion

Joseph Ehrenpreis (guitar), Keiko Fujie (composer)

# 犬を食べる?

作曲家の藤家溪子が、西アフリカ・ブルキナファソで個人的に経験した犬肉食のいきさつをもとに作曲したブラームスギターのための新曲を、背景のストーリーの朗読を交えて演奏します。また、「食べることを通じた人間と生きものの関係を考えるトークセッションを開催します。関連作品も展示します。

ブラームスギターと朗読のコンサート  
+トークセッション

## プレ・イベント (無料)

京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA 2F キュレトリアル・ラボ前  
15:00~15:40 ブラームスギターと朗読のミニコンサート・展示

## メイン・イベント (大人1000円・学生500円・中学生以下無料)

Taro-house(京都市南区東九条西岩本町16-1)

16:00~17:00 ブラームスギターと朗読のコンサート・展示

17:00~18:00 トークセッション+会場フリートーク

司会進行: 佐藤知久(京都芸大芸術資源研究センター教授)

▶ メインイベントに参加を希望される方は、氏名とご来場日時を添えて、5/31日までに下記メールアドレスにお申し込み下さい。定員25名、先着順。  
norangnarang2020@gmail.com

主催: Norang Narang (ノランナラン)

京都府文化力チャレンジ補助事業(予定)

京都市立芸術大学移転記念事業

[Floating and Flowing——新しい生態系を育む「対話」のために]

連携企画



ブラームスギターを演奏するジョゼフ・エーレンブライス

ジョゼフ・エーレンブライス Joseph Ehrenpreis  
ブラームスギターの数少ないプロフェッショナルな演奏家の1人。イェール大学音楽院在学中。 <https://www.facebook.com/ehrenpreisguitar/>

ブラームスギター Brahms Guitar  
スコットランド出身のギタリスト、ポール・ガルブレイス Paul Galbraith が1994年に独自に開発した8弦ギターで、共鳴箱がついている。名称はブラームスの「主題と変奏Op.21a」を演奏するために考案されたことに由来する。 [https://en.wikipedia.org/wiki/Brahms\\_guitar](https://en.wikipedia.org/wiki/Brahms_guitar)



藤家溪子とブルキナファソのオペラプロジェクト「LA-BAS OU ICI...」の演奏家たち ©Sophie Garcia <https://www.labasouici.net>

藤家溪子 Keiko Fujie  
作曲家/ピアニスト  
東京芸術大学大学院修了。1995年、女性として初めて日本の作曲家の優れた管弦楽作品に与えられる NHK 交響楽団「尾高賞」を受賞。2000年同賞を再受賞。クラシック音楽の作曲家としてオーケストラ、室内楽、合唱などの作品を多数作曲。2004年から約10年間、家族と共に「山下和仁ファミリー・クインテット」を結成し、作曲と公演を中心に活動。近年は特にオペラ作曲に力を注ぎ、2020年「蝕 (A Vermillion Calm)」をボールドで初演。2019年以來、西アフリカ・ブルキナファソに拠点を移し、現地の伝統音楽継承者たちとのコラボレーションで新しいオペラ「La-bas ou ici...」を制作中。2025年大阪・関西万博で同オペラを公演することが内定している。 <https://www.keiko-fujie.com/>



Keiko Fujie

# 犬、食べる？

ブラームスギターと朗読のコンサート+トークセッション



トッパスとバビラ

2024年 6月1日(土)・2日(日)

ジョゼフ・エーレンブライス (ギタリスト)  
藤家溪子 (作曲家)

両日とも

15:00~15:40 プレイベント  
京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA  
入場無料

16:00~18:00 メインイベント  
Taro-house  
大人1000円・学生500円・中学生以下無料

\*メインイベントに参加を希望される方は、氏名と来場日時を添えて、5/31までに下記メールアドレスにお申し込み下さい。  
両日とも定員25名、先着順  
[norangnarang2020@gmail.com](mailto:norangnarang2020@gmail.com)

ジョゼフ・エーレンブライスによるブラームスギターという新しい創作楽器の演奏と作曲家・藤家溪子の書き下ろしストーリーの朗読を交えたコンサート。メインイベントでは、コンサートのあと、人間と生きものとの関係を考えるトークセッションを開催します。

ギャラリー@KCUA  
[京都市立芸術大学移転記念事業「Floating and Flowing——新しい生態系を育む「対話」のために」開催中(6/9まで)。「犬、食べる？」イベントは2階キュレトリアル・ラボ前にて。参加無料。]



Gallery@KCUA

Taro-house  
(京都市南区東九条西岩本町16-1)  
約百年前の小さな古長屋をアーティストらが改修したアトスペース。2022年10月、芸術祭・東九条アンサンブルと共にオープン。展覧会や研究会、ワークショップ等を開催。オーナーはノランランの拠点であるBooksxCoffee Sol。店長ヤン・ソル。 <https://taro-house.blogspot.com>



Taro-house

